

伊藤石材店

石 大地からの贈り物に
想いをたくし、永遠に残
したい。
こう語るのは、伊藤石
材店代表の伊藤一二三さ
ん（榎台）。

「八森の石や」として
知られる伊藤石材店は、
大正初期創業という歴史
ある石材店です。代表の
伊藤一二三さんは三代目
で、主に墓石や灯籠の製
作を行っています。「古
代から石の文化は人の精
神を象徴するものとして
存在しています。石材は



お客様の想いを残したいと語る伊藤一八さん（四代目）

『想いを刻む』

Sow Koku

不変に残る大地からの贈り物
です。」と石への想いを語っ
てくれました。

伊 藤石材店前には、代表的
な灯籠だけでなく可愛ら
しい作品が飾られています。
これは、ここ数年「想刻」と
して本格的に行っている石彫
刻加工品です。サンドブラス
ト技法と呼ばれる、砂を吹き
付けて金属やガラスなどを研
磨する技法を使い、ペットの
写真の彫刻や、メッセージの
彫刻等を行っており、大変好
評だといいます。

従業員であり四代目である
伊藤一八さんは専門学校卒業



伊藤石材店
(八森字榎台149-3)
TEL 0185-77-3425

- 産業分類/石工品製造業
- 主な仕事内容/墓石、石工事、石彫刻加工、リフォーム、ベット墓、ガラスミラー彫刻等

後、石卸業者等での勉強を経
て、ここで働き始めて10年ほ
どが経つといいます。この仕
事のやりがいについて聞いた
ところ「完成した彫刻をみた
お客様のありがたさの言葉
がすごくうれしい。石は半永
久的に残るものなのでお客様
の想いを残したい。」と話し
てくれました。

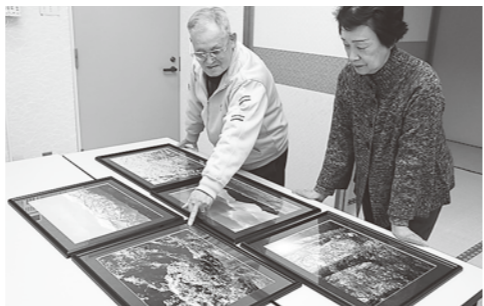
最 後に、社訓である「想
いを刻む」について聞いた
ところ、「お客様の想いをカ
タチに残す為、心を込めて作
っています。」とお2人そろ
って熱く語ってくれました。

八峰町のなかまたち 八峰町で活動する様々な団体・サークルなどにスポットライトを当てます

Vol.24 八森写真クラブ

八森写真クラブは、写真の愛好者によるサークルで、平成2年に結成されました。結成当初は20名以上の会員がいたものの、現在は70代から80代の6名で活動しています。主な活動内容は、八峰町文化祭に向けた写真撮影です。個々に風景写真を中心に撮影し、月1回写真を見せ合ったり、専門書を参考に勉強したりします。ときには撮影会として、各所に出歩くこともあります。また、一般の写真募集へ応募する会員もいます。

同じ風景を見ても、それぞれ見方が異なり、作品も異なります。写真は、その「時」を切り取り、「思い出」を残してくれるものです。四季を感じられ、心と体の健康にもつながります。ぜひ若い人はじめ、たくさんの方に写真の魅力を知ってほしいですし、サークルに入ってほしいです。



要予約 【忌明け・回忌法要】
ご家族や少人数での法要は
鮭待夢の会席すし折詰め
5,000円から配達します
オードブル・お刺身も承ります

お寿司の宅配と
お持ち帰り
すしたいむ
鮭待夢
SUSHI.TIME
【能代店】
能代市南陽崎31-20
TEL.0185-
55-3277

八峰町プレミアム商品券・八峰町敬老記念商品券 取扱店

能代高校生と一緒に活動!

ジオパークでは、今春から能代高校科学部の生徒と協力した活動を進めています。科学部は、普段は自分たちが興味を持った科学的な内容を調べたり、実験観察活動を行っています。今年度は八峰町のガイド養成講習会に参加し、学んだ知識をガイドとして他の人に伝える活動を目指しました。今年度開催されたガイド養成講習会に計5回参加し、10月27日に日本ジオパークネットワーク全国大会のエクスカージョンとして行われた八峰白神ツアーでは、実際に白神神社でガイドを務めていただきました。生徒が自分たちで調べたガイドは分かりやすくツアーの参加者に大変好評でした。

今回は、能代高校生がジオパーク活動に参加したことについての意見や感想を紹介します。能代高校生の参画は、八峰白神ジオパークにとっても幅広い活動につながります。今後もジオパークを部活動に活用するとともに、地域への普及啓発にも努めていただければと思います。

相澤 龍彦 (二年)

今年の春からの一連のジオパークや白神神社についての活動を通して、今まで知らなかった八峰町の地形・地質、歴史、植生についての知識を知ることができ、理解が深まりました。また、そこで得た知識を日本ジオパーク全国大会で発表したり、白神神社についてガイドをしたり、発信することで、私たち能代高校科学部としても新たな一歩を踏み出すことができました。

私たちが調査したことは3つあります。一つ目は地形・地質についてです。八峰町は地質学的にとっても珍しい土地であり、ジオパークとしてふさわしい土地であることが分かりました。二つ目の歴史の面では、八峰町は平安時代以前から古い文献に記録のある土地で、近世になつてからは植林で苦労されたこと、三つ目の植生については、非常に多くの植物が生息しており、昔からそれらを活用する人々の知恵が受け継がれていることが分かり、驚きの連続でした。

これらの活動を体験することができたのは、八峰町の皆さま



鹿の浦展望台で八峰町の地形を学ぶ能代高校生。

のご協力があったからこそです。八峰町の皆さまに感謝し、これからも積極的に活動したいと思っています。

鈴木 智輝 (二年)

私は、今回のジオパークについての活動を通して「ジオパーク」というものを知ることができました。

ガイド講習会に参加し、二ツ森や留山などに行つたときには、たくさん植物があり、初めて知る植物が多くとても勉強になりました。また、ふきの葉を使ったコップの作り方を教わり、便利だと思いました。

そして講習会で学んだことを



白神神社でツアー参加者との集合写真。

活かして、能代高校科学部として白神神社のガイドをさせていただきます。学校行事などが重なり、ガイドをするための準備はかなり大変でしたが、無事にガイドをすることができ、貴重な体験をすることができました。これからも能代高校科学部として、ジオパーク活動に取り組みでいき、またこういった機会があれば今回の経験を踏まえて、より良いものにしていきます。

八峰白神ジオパーク推進協議会
地域おこし協力隊 三輪 拓磨
TEL 0185-2632
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一
ふなっこのランド内
TEL 0185-77-3086